



「卵」と「玉子」はどうちがうの

ニワトリの「たまご」は「卵」や「玉子」と書く

鳥・魚・虫などの、めすが産み落とす「たまご」は、「卵」と書きます。

また、ニワトリのめすが産み落とす「たまご」も、ふつうは「卵」と書きますが、ニワトリの「たまご」だけは、「玉子」と書くこともあります。ですから、「玉子」と書いてあれば、ニワトリが産んだ「たまご」だということになります。

「けいらん」ともいうニワトリの卵

ニワトリは漢字で「鶏」と書き、音読みで「けい」といいます。卵は音読みで「らん」といいます。ニワトリの卵を「鶏卵」と書き、「けいらん」と読みます。

ニワトリの卵は、1年中産み落とされ、スーパーマーケットなどで、安い値段で買うことができます。卵は、とても栄養価が高く、料理に使われたり、お菓子の材料に使われるなど、わたしたちの食料として、欠くことのできない重要なものです。

最近、草花を育てて楽しむ園芸がさかんですが、ニワトリのふん(糞)は、肥料としてよく使われます。ニワトリ(鶏)のふん(糞)なので、「けいふん」といいます。

(監修・田代 脩)

